



特集

# 「小5 合判模試」3

中学入試レポート vol.

## 一人ひとりが自分の ステージに立つ主人公

～行事も部活も課外活動も、熱量に満ちた中高6年間。  
可能性は眠らない、眠らせない～

これほど世界や社会を意識した5年生は、稀なのではないでしょうか。

新型コロナウイルスのパンデミックがもたらしたこれまでの出来事——、全国一斉休校、東京オリンピック・パラリンピックの延期、緊急事態宣言の発出とステイホーム、短い夏休みなどの体験は、大人にとっても初めてのことで、「なぜ」「どうすれば」と答えを探しながらの日々です。5年生の皆さんと2021年入試の当事者である6年生との違いは、まだ志望校さえ曖昧な状態で、これからというときに情報収集の時間を奪われてしまった、ということでしょうか。受験勉強のモチベーションを見失いそうだという声も聞こえてきます。

そんなときにこそ、現役中高生の活躍に目を向けてみたいと思います。それぞれが、中学生になったらやってみたいこと、極めてみたいことが、あぶり出しのように見えてくるかもしれません。大学合格実績や偏差値とは違う学校選びの視点とも言える、私立中高一貫校の多様性に触れていきましょう。

首都圏模試センター

## 時間と距離を超えて学校に“行ける”

「受験生本人にやる気が見られないので、中学受験を断念します」。「志望校が決められません」。こんな声が届いています。

文化祭や体育祭を見学し、中高生の生き生きと躍動する様をみて、憧れとともに受験勉強のモチベーションを上げる、というのがこれまでの定石でもありました。今年は一転。延期や中止、一般公開の見送りなど、春から続く、受験生の立場で学校行事を見学することが難しい情勢は秋以降も変わりそうにありません。

だからと言って学校の魅力に触れないまま諦めるのはまだ早いとお伝えしたいと思います。

9月にもオンライン文化祭が数多く実施されました。これまでなら足を運ばなかったかもしれない学校の生徒の様子に刺激を受けた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

既に終了したものばかりではありません。10月以降も文化祭などのオンラインイベントもまだまだ続きそうです。

◎筑波大学附属の文化祭は10月中旬開催予定です。YouTubeでバーチャル空間での参加を想像するだけでワクワクするようなPVが公開されています。●成城は、11月14日・15日にオンライン開催。こちらもYouTubeでのPV配信はもとより、note上の「成城中学校・成城高等学校文化祭実行委員会公式note」でも準備の様子を綴っています。この夏には中2有志「地球環境研究会(仮)」が文化祭での発表に向けて行った東京湾周辺のマイクロプラスチック調査の様子も報告されています。文化祭当日、どのような発表が行われるのでしょうか。●開成は、年明け2021年の1月9日・10日に延期されました。例年なら混雑して見られないプログラム、素通りしてしまうかもしれないパフォーマンスを自分だけの特等席で見られますし、志望校として考えたことはない学校でも自宅からなら参加しやすいものです。また動画やホームページでの学校生活の様子の発信は、例年にない頻度

で行われている学校が多くみられます。受験勉強にくじけそうなとき、動画を再生してみるとパワーがもらえます。躍動する中高生の姿は、何にも増して受験勉強を支える励みになるでしょう。



●鷗友学園女子の文化祭「かもも祭」も9月19日・20日にオンライン開催。合言葉は「今だからできる学園祭を全力で楽しもう」

## コロナ禍は、生徒を動かす

●目黒星美の文化祭は、「SOLプロジェクト」という、コロナ禍を自分事として考える行動となりました。普段お世話になっている地域の方々、校外活動や修学旅行でお世話になっている宿舎などに文化祭の予算を使い、マスクやジェルを届けたそうです。校内募金やプロジェクトニュースなどを行うことで全校生徒の意識を高め、メッセージカード作成やパッケージも全校で取り組んだと言います。カトリック校だけにもともと文化祭にチャリティの側面があったとはいえ、新しい行動を生み出すしなやかさはさすがです。

学校の枠を超えた交流も、コロナ禍の閉塞状況を壊したい情熱が生んだのかもしれませんが。

日本の中高生を世界とつなげたいと、●大妻が中心となって立ち上げた「学校横断グローバルプロジェクトGlobal Network for Students」はその一例です。8月には「海外大学に進学した学生・卒業生とつながり、話をしよう!!」というオンラインセッションが開催され、13校107名の中高生、13人の海外大学生が参加しました。

学校説明会が行われない状況は、在校生にとっても、大好きな我が校を知ってもらえないもど

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校



# 特集 一人ひとりが自分のステージに立つ主人公

～行事も部活も課外活動も、熱量に満ちた中高6年間。可能性は眠らない、眠らせない～

かしさがあります。9月13日には、「生徒によるオンライン学校説明会」が開催されました。発起人兼プロジェクトリーダーは●高輪の高2生で、参加校も高輪をはじめ、○順天、●獨協、●自由学園男子部、●城北、○市川、○開智日本橋学園、●自由学園女子部、○新渡戸文化、○かえつ有明（9月2日現在）と多彩。結成目的の中に「自身の所属するコミュニティを自らの手で発信していく活動を、学校に関わる内容を中心に進めていく」とあるように、企画から、広報、運営まで、全て学校公認の現役中高生による学校外活動でした。

## 部活動に情熱を燃やす

日常の学校生活において、学習活動と同じく、あるいはそれ以上に熱量を注がれるのが部活動でしょう。世界大会レベルの活躍も、興味・関心へのチャレンジも、それを支援する周囲の日常もまた、学校生活を豊かにしてくれます。

歌手のさだまさしさんは高校球児に「夢と引き換えに社会を守った」と呼びかけましたが、コロナ禍でコンクールや大会の中止が伝えられるたびに、それが何の大会であっても、放心したような姿と言いやうのない怒りにも似た中高生の表情が画面に映し出されました。休校となり、リモートで活動したり、個々に練習したりすることになった部活動の様子を見るにつけ、大会の結果だけでなく、泣き、笑い、歓喜する姿につながる日常の一時一瞬が愛おしいものと、痛いほどわかります。

部活動といっても、それぞれの学校に様々な部活動、同好会があります。

運動部も、文化部も、様々な興味関心を持った生徒が集まり、学年や性別を超えて活動しています。野球、サッカー、バスケットボール、ハンドボール、弓道、卓球、テニス、スキー、陸上、ラグビー、柔道、剣道、水泳、登山・ワンダーフォーゲル、トライアスロンなど学校の規模や施設設備などの環境にもよりますが種々

様々。ゴルフやアメリカンフットボール、空手、太極拳、なぎなた、和太鼓などの部を持つ学校もあります。ダンスは人気の高い部活です。



全国大会など中止となり、○かえつ有明ダンス部も今夏は映像参加の代替イベントに参加。ダンスの可能性は無限大を実感



なでしこ選手も輩出する●十文字サッカー部。東京都には28校に女子サッカー部がある（連盟加盟校）

文化部も、演劇、化学、吹奏楽、合唱、生物、物理、地学、美術、歴史研究、鉄道研究、書道、かるた、軽音楽、囲碁、将棋、謡曲仕舞、茶道、写真、箏曲、ボランティアなど実に多彩。作品作りや研究、時に飼育など、きっとそれぞれの興味にあった部活動があることでしょう。

今は存在しないものは、まず同好会から自分で立ち上げることも珍しくありません。最近人気のe-スポーツなどは、急激な人気伸長ぶりです。

悩みや弱さを見せられる生涯の友人との出会いも、中高6年間で絆が深まることは想像に難くありません。リーダーシップやフォロワーシップを身に付け、個人としても心身ともに成長するのも、部活動の魅力でしょう。

## 活躍のステージ、鼓動高まる時間

直近でも、多彩なステージでの活躍が伝えられています。



○山手学院の「ねころ部」。地域の人々とともに動物愛護活動を行なっている。

＊「PDA全国高校即興型英語ディベート大会2020」  
 夏休み中にオンラインで実施された本大会で、「課外活動の部 一般」で●栄光学園の高校1年生チームが優勝しました。このチームは3月の「PDA全国中学生大会」の優勝チームで中高をまたいで優勝の快挙。また●浅野も、「課外活動の部 一般」3位、「課外活動の部 初心者」で優勝と存在感を示しました。「チーム賞 授業の部」では◎作新学院のチームが決勝で同校対戦となり優勝、準優勝を分け合いました。

＊第52回国際化学オリンピック

オンラインで実施された「第52回国際化学オリンピック」に●麻布、◎久留米大学附設、●南山女子部、●灘の高校生参加。4名全員が銀メダルを獲得しました。

＊田園調布学園「モノコトイノベーション2020」

●田園調布学園や他校の生徒がチームで参加し第一位に。課題テーマ「Withコロナにおける困りごとを解決するモノコト」に提案したのは、非接触により実際に顔を合わせることなく他者とコミュニケーションをとることによって傷ついたり、惑わされやすくなったりするなかで、中高生向けに提案するココロに優しいSNSアプリ。

＊高校生直木賞に参加

全国の高校生が議論し大賞を選考する高校生直木賞。第7回の今年は8月に全国36校の生徒が参加し、オンラインにて開催されました。◎大宮開成、◎市川、◎東京成徳大学、●聖学院、●豊島岡女子学園、●田園調布学園、●麻布、●晃華学園、●湘南白百合、◎横浜富士見ヶ丘、◎横須賀学院など全国の高校生が議論の結果選んだのは『渦 妹背山婦女庭訓魂結び』（大島真寿美・文藝春秋）でした。

＊栄東「TBS東大王 選抜クイズ甲子園 3時間SP」で準優勝

◎栄東高校クイズ研究部の3名が出演し、惜しく

も決勝で敗れたものの、並び居る全国のクイズ強豪校の中で見事な準優勝に輝きました。

＊The “One” Junior Golf Tournament 2020 (石川遼プロ主催)に共立第二のゴルフ部から2名出場

全国から48名選出された選手による本大会に、●共立女子第二ゴルフ部から2名参加。同校はプロも輩出する強豪校で、秋の関東地区特別大会での活躍も期待されます。千葉の◎麗澤ゴルフ部にも注目です。

＊「2020 Tokyo Thanks Match 兼 令和2年度 東京都高等学校自転車競技 学年別大会 (ロード競技)」

インターハイ予選代替大会として行われた本大会にて、●佼成学園高2生が、学年別で第一位に。●日本学園トライアスロン部の高3生も最後の大会として臨み、惜しくも入賞は逃しましたが、逆境を跳ね返す力走を見せました。

Z世代から次世代へ

1996～2012年生まれの人たちは、「Z世代」と呼ばれます。社会や環境問題に関心が高く、個人の成功より社会貢献を大切に考える世代で、SDGsネイティブとも言われます。5年生の皆さんは、Z世代に数えられながら、次の世代とも繋がっていくことでしょう。

コロナ禍が浮き彫りにした日本の課題、否が応でも目に入る国や人種の軋轢。世界のリーダーたちの行動。それらのことを、ひと事ではなく、自分たちだったら、と考える力がこれからの時代にはより強く求められます。冒



◎大宮開成直木賞への参加を呼びかけるポスター(図書館前の掲示板にて)

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校



「じょうどうぶ」。漢字で書くと「杖道部」。関東で唯一、この現代武道の部があるのは●駒沢女子学園。



## 特集 一人ひとりが自分のステージに立つ主人公 ～行事も部活も課外活動も、熱量に満ちた中高6年間。可能性は眠らない、眠らせない～

頭でお伝えした、5年生のうちにこれほど世界を意識できたという強みが、これから経験していく中高の学びで生かされることでしょう。何しろ中高時代は、学力育成とともに、いかに生きるかを考える時期でもあります。

中高生の社会的関心は、昨年、高校生の提言を安倍首相（当時）に提出した「高校生G20サミット」、●鷗友学園女子も参加し地域を超えた女子校が連携してジェンダーを考えた「女子校サミットin Kumamoto」、●静岡聖光学院ラグビー部が開催した「部活動サミット」、また年々関心の高まる「模擬国連」といった活動にも現れました。2017年には“高校生の、高校生による、高校生のための”全国高校教育模擬国連大会(AJEMUN)も誕生し、日本全国から応募した高校生が各年の大会実行委員に名を連ねています。

### 2021年入試情報

ここからは2021年入試情報を改めて確認します。●吉祥女子が入試回数を3回から2回に変更（第1回 2月1日・第2回 2月2日）するなどの日程変更のほか、今年はコロナ禍対策から変更する動きもありますが、近年続く傾向もあります。前号でもお伝えした変更点と、その後に判明した情報をから、改めて2021年入試の変化を見ておきましょう。

#### 【オンライン入試】（以下は全て2020年9月現在の予定）

東京私立中学高等学校協会は、9月3日の理事会で「2021年中学・高等学校入試について、コロナ感染防止のためオンライン入試を行うことは自粛すると申し合わせた。従って協会傘下の東京私立中高はオンライン入試を行わない。万一感染が拡大する情勢になれば、解禁日（＝2月1日）を先送りし、全体的に日程をずらすとした。尚、学校の収容人数が少なく試験会場が密になる場合、校外施設で実施することは可とした」と非公式に伝えられました。神奈川私学協会は各校判断に委ねるとされていますので、都

県で判断が分かれそうです。

東京でも、帰国困難な海外在住者への配慮などからオンラインで実施する帰国生入試は、自粛の対象ではありませんので、帰国生入試のオンライン実施については、変更はないと思われます。

この申し合わせで浮上したのが、東京全体での日程の変更、学校外会場での入試が可能という点です。ウイルス対策は、いずれの学校でも万全に行われることは間違いのないでしょうが、入試期の感染拡大状況が予測できないだけに、あらゆる可能性を鑑みたうえで次善策が示された格好です。すでにオンライン入試を実施することを発表していた学校もありますので、今後の動静を見守る必要があります。

#### 【聴解・視聴・リスニング型入試】

従来型の入試が大半を占める状況は変わりませんが、複数日程の中に新タイプ入試を導入したり、午後入試を設定したりするなどの変更も続いています。◎芝浦工業大学附属が「主体的・対話的で深い学びを実現するためには、文字からだけでなく音声からの情報を得たうえで自ら考え行動する力」が必要と考えるように、それぞれの学校からは、従来入試では測れない力を見たいとの思いが伺えます。

◎芝浦工業大学附属〔2月2日午後 特色入試〕：言語技術・算数、または英語・算数から選択。言語技術は論理的思考力、分析力、発想力、表現力を総合的に問う問題。「例えば与えられた資料を分析し、読み取った情報から自らの考えを組み立て説明するような、答えが一つに定まらない問いに対して、文章で自分の考えを説明する問題を出題」とされる。（2021年より共学となる）。

〔2月1日・2日の国語・算数〕：聞いて解く問題（リスニング）を実施。国語では説明や指示を聞き、答えを聞いて選ぶ「聞く力」を確認。算数では図形なども耳からの情報でもイメージできる力を確認する。

◎多摩大学聖ヶ丘〔2月2日午後 日本語リスニング入試〕：国語・算数の基礎問題と、日本語リ



スニング試験を実施。リスニングでは、文章を聞き取り、その後、配布される課題に答えるというもので、「主旨を正しく理解すること」と、「示された課題に基づいて自分の考えを表現する力」を評価するとしています。

●海陽中等教育学校〔1月9日 入試Ⅱ・2月7日 入試Ⅲ〕：論理的思考力を問う従来型の出題を行う算数（60分）、音声を聴いたり映像を視たりして問いに答える形式の視聴型総合問題（60分）。視聴型総合問題では、日本語の文章を読み上げた音声を聴き、聴き取ったことについて問題に答える。アナウンスされた内容を理解した上で、自分の意見を表現できる力を確かめる「国語分野」と、さまざまな現象の映像によって与えられた情報を正しくとらえ、論理的に思考し、表現できる力を確かめる「理科分野」、映像によって与えられた情報から大事なことを抜き出し、まとめた上で自分の意見を表現できる力を確かめる「社会分野」から出題。

### 【午後入試・算数1科目入試・特待入試】

近年、入試数も増加し受験者数からも人気がかがえる午後入試・算数1科目入試の新設も継続しています。合格者の入学率が高い学校もあり、気が早いですが2021年入試の結果にも注目したいところです。

- 獨協：2月1日午後入試新設、2科、約20名募集、当日発表。定員は2日約90名を約70名に変更。
- 清泉女学院：2月2日午後算数1科型入試新設。
- ◎桜美林：2月3日午後を、国算2科目入試から、算数1科目入試に変更。
- ◎開智：1月11日午後算数1科目入試を新設（60分120点）。本校・大宮会場。
- ◎啓明学園：2月1日午後英語1科目入試（面接なし。英検準2級レベル）を追加、新設。入学手続きは2月10日まで延長。
- ◎駒込：2月2日午後、算数1科目の3力年特待入試を新設。
- ◎昭和学院：1月20日午後算数1教科入試（※

オンラインでも実施）

- ◎桐蔭学園：2月2日午後特別奨学生選抜入試新設（2科）。合格者のうち上位20名を特別奨学生とする。
- ◎東京農業大学第一：2月1日午後入試は、2科4科選択から算理または算国に変更。定員比、集合時間にも変更あり。
- ◎東京電機大学：2月1日午後入試は、2科から国語または算数いずれか1科目選択とする（時間50分→60分）。定員は他日程減で1日午後20名増。

### 【新タイプ入試の動き】

従来型入試では測りきれない受験生の可能性を発見し、思考力や表現力、協働する力などが評価される新タイプ入試。2021年でも、先述の聴解・視聴・リスニング型入試をはじめ、新しい入試が誕生します。

- 静岡聖光学院：1月10日にプログラミング入試、英語入試新設。1月9日21世紀型入試はオンラインで実施。
- 大妻多摩：2月1日総合進学・総合思考力型入試[読解表現（作文）・算数・合科適性]を適性型思考力入試[読解表現（作文）・合科適性]に変更。
- 実践女子学園：2月1日・2日に思考表現入試新設。思考力+プレゼンで実施。
- 日本大学豊山女子：2月2日午後の思考力[プレゼン]型入試（テーマ選択・情報收拾・まとめ・発表）を、プレゼンテーション[課題発見]型入試（プレゼンテーション・質疑応答）に。
- 藤村女子：2月1日午前「ナゾ解き入試」（4科に即した謎を解く謎検型15分、グループ形式の脱出ゲーム型45分の問題解決）を新設。
- ◎東京立正：2月13日に自由研究SDGs入試を新設。
- ◎宝仙学園理数インター：2月1日午後、日本語リスニングとプレゼンテーションで行う、「オピニオン入試」を新設。プレゼンテーションのテーマは10月頃に発表し、当日、発表準備→学校から提示される追加資料をもとに15分間で発表準備。様々な情報を集め発表内容を確定（ス

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校



# 特集 一人ひとりが自分のステージに立つ主人公

～行事も部活も課外活動も、熱量に満ちた中高6年間。可能性は眠らない、眠らせない～

マホやPC持ち込み可) →自分の考えてきた内容と、当日示される資料の中にある条件をもとに発表(5分) + 質疑応答(15分)。

◎目白研心: 2月2日適性検査入試(I IIまたはI II III)、3日算数1科入試、3日午後次世代スキル入試(グループワーク)を新設。

## 【コロナ対応】

コロナ禍の学習状況の影響への配慮や当日の感染防止策も打ち出されています。



◎栄東の2020年入試風景。2021年は様変わりするだろう。

### ・会場や集合時間の変更

◎栄東: 1月10日、12日は登校時間を2グループに分散。会場は本校・埼玉栄・栄北に分散し、教室の収容人員を25名とする。机にはアクリルパネル、会場入口にサーモグラフィーを設置。駐車場としてグラウンドを開放する。

### ・2021年入試ではグループワーク、面接を実施せず

◎神奈川県立中等教育学校(相模原・平塚): グループワークについて、「新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じて適切に実施することが困難」とし、実施しないことを決定。

●共立女子: 帰国生入試と、合科型入試の面接は実施せず(インタラクティブ入試のグループワークは実施)。

このほか面接を実施しないのは、●横浜共立学園、●桜蔭(保護者面接は実施しない。受験生面接は実施)、●清泉女学院(1期)です。

### ・出題範囲への配慮

出題範囲に配慮することを公表したのは、●共立女子、●立教女学院、◎日本大学第二、◎

東京学芸大学小金井附属。

これらは小学校の休校状況を踏まえて、出題範囲に関する配慮として発表されました。科目や内容は学校ごとに異なりますが、理科や社会への配慮が中心です。公立高校で出題範囲を削減することが早々に決定され、私立高校入試もそれに準ずる一方、中学入試では、公立中高一貫校は適性検査型入試で、出題範囲に制約を受けない入試を行っており、出題範囲の削減などは行いません。また中学受験は入試の出題範囲の学習を塾で進めている受験生が多いこと、受験勉強に配慮し過去問との差を少なくしたい、というように、事情が異なります。このため中学入試では削減の動きは多くはありません。

このほか、これまでかなり高い割合になっていた出願や合格発表のWEB化(掲示発表を無くしてWEBに一体化も増)が、さらに進むのも、コロナ対応が一つのきっかけになったと考えられます。掲示板前の悲喜こもごもの発表風景は消えそうですが、WEB出願・発表は合格手続きのWEB化とも連動しますので、受験しながら発表、手続きなどに学校間を移動することが不要になります。●開成・●本郷・●桜蔭・●恵泉女学園・●東洋英和女学院・◎武蔵野大学・◎日本大学藤沢・◎筑波大学附属(予定)などがWEB発表となります。なお、●桜蔭、●東洋英和女学院、◎筑波大学附属(予定)、●横浜雙葉などがWEB出願を導入。この流れはコロナ禍が終息しても、元(窓口出願、掲示発表など)に戻ることは無いでしょう。

### 【新クラス・コース開設、共学化、中学開校など】

●佼成学園: 2021年よりグローバルコース開設  
●聖学院: 2021年より高校に、「Global Innovation Class」を新設(高入生15名、内進生15名)。教育の柱に『Immersion』『STEAM』『PROJECT』を据える。

●世田谷学園: 来年度から「本科」と「理数」の2コース制を導入。入試日は同一。定員は、全日程で本科コース160名、理数コース40名。本



●聖学院のタイ研修旅行に参加した生徒によるレポート集『十年間の最初の日』が完成。3000冊を限定販売(一冊1000円)し売上金は全てタイ関係施設に寄付される。



科コースは国語・算数各100点、理科・社会各50点。理数コースは国語100点・算数200点、理科100点・社会50点。

●本郷：高校募集停止。2019年入試で中学・高校募集定員変更済み

●江戸川女子：2021年、英語教育に力を入れる「国際コース」を新設。

●昭和女子大学附属昭和：入学後、中3から選択としていたスーパーサイエンスコースを1年次からのコースとして募集をスタート。

●文京学院大学女子：2021年9月よりアオバジャパン・インターナショナルスクールとの教育連携をスタート

◎開智：先端4コース編成に。【先端IT】【先端MD】【先端GB】【先端FD】

◎聖徳大学附属女子：共学化。新校名は「光英 VERITAS (ヴェリタス) 中学校・高等学校」。第一志望入試、適性検査型入試、算数1科入試、英語1科入試に加え、1月20日午後に理数特待選抜入試(算理融合問題)新設。

◎芝浦工業大学附属：共学化し女子募集を開始。

◎村田女子：2021年4月、広尾学園小石川に校名変更&中学開校、共学化。日程により2科・4科・3科(English・Mathematics・Japanese)も。本科コース40名、インターナショナルSGコース40名、インターナショナルAGコース40名。

### 【国公立の科目変更・一貫化】

公立中高一貫校は高校募集をやめ、一貫化に舵を切っています。また国立の科目変更も科目型入試からの転換点として留意したい変更です。

◎お茶の水女子大学附属：従来の4科目入試から「入学検定：検査Ⅰ、検査Ⅱ、検査Ⅲ」に変更。

◎筑波大学附属：8教科(全教科)から4科目(国算社理)に変更。

◎都立富士、◎都立武蔵(併設型一貫校)の高校募集停止。

◎茨城県立高校：水戸第一(併設型)、土浦第一(併設型)、勝田(ひたちなか地区中等教育学校)の

中高一貫化。2019年は太田第一、鹿島、下館第一、鉾田第一、竜ヶ崎第一。

◎川口市立高校附属：中学開校。第一次選考1月16日(土) 発表1月21日(木)。第二次選考1月23日(土) 発表1月28日(木)

◎川崎市立川崎高校附属：高校募集を停止し完全中高一貫校へ

### 2022年入試情報

5年生のみなさんが受験する2022年入試の変更点です。

●豊島岡女子学園：高校募集停止。中学募集定員に変更なし。

◎江戸川取手：2022年に受験生全員、英語必須(英語を含む5教科入試)とする。

◎千葉市立稲毛中学校・高等学校：2022年から段階的に高校募集を停止し段階的に中等教育学校へ改編。

◎都立両国、◎都立大泉の高校募集停止。白鷗は時期未定

◎茨城県立高校：水海道第一、下妻第一が中学を開校し中高一貫化。

2021年入試では、◎開智日本橋学園が算数の配点を引き上げ、社理を合計60分から独立させ各25分に、●恵泉女学園も理社を独立型にするという4科目入試型の時間、配点の変更も見られます。また◎森村学園が第3回を4科から2科4科選択に変更し全日程が2科4科選択となるなど、科目数減の流れも一方で続いています。適性検査型や思考力型入試の導入など、新タイプ入試も科目型では測れない受験生の可能性を発見する入試として浸透。

日程、定員(配分)、科目、配点、入学手続き締め切りなど、入試要項には様々な項目があります。5年生の皆さまも、受験勉強や学校情報に力を入れるとともに、入試情報にもアンテナを立てておきましょう。

※本文・コラム文中の、●=男子校、●=女子校、◎=共学校



◎関東学院六浦、●共立女子、●白梅学園清修が入賞常連の鉄道模型コンテスト。[2020東京大会]は11月22日(日)・23日(月)にYouTube LIVE配信で開催予定。どこからでも見る・聞く・投票する「オウチデ鉄コン!!」